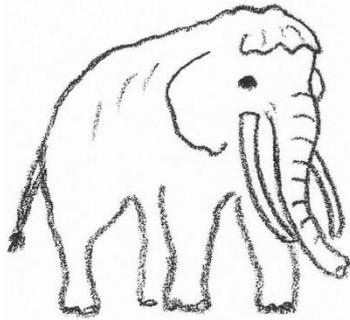
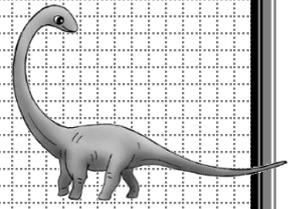


2022年7月

地質 — No. 25

けんぱくものしりシート

オオバタグルミ



わしは、今から2万年ほど前、岩手県の南のはしの
一関市花泉町でくらしていたナウマンゾウじゃ。ゾウ
の仲間は、ここ岩手でも100年以上前からくらしてお
たが、今日はそんなわたしたちよりもっと昔に生きていた
ゾウの足跡や、古いクルミについて教えてあげよう。

これは、花巻市を流れる北上川の川岸
で見つかったオオバタグルミというクル
ミの化石じゃ。すでに絶滅した仲間で、
殻が厚くて堅く、先は細くてとんがっ
てる。世界中の地層から発見されてい
て、今のところもっとも古いクルミの祖
先なんじゃ。実は、化石が見つかった北上
川の川岸というのは、岩手県出身の詩人
で童話作家、宮澤賢治が“イギリス海岸”
と名付けて親しんだ場所じゃ。

1922(大正11)年、稗貫農学校で教師
をしていた賢治先生は夏の暑い日、授業

の合い間に生徒たちを連れてこのイギリス海岸をたびたび訪れた。水遊びをしたり、
川辺を歩いたり、クルミの化石をいくつも拾ったりして楽しんだんじゃ。ある日、
ひとりの生徒がなにかの生きものの足跡を発見した・・・これらの出来事が賢治先生
の作品『イギリス海岸』につづられておる。



オオバタグルミ

花巻市小舟渡

第四紀 前期更新世 (約150万年前)

いわてけんあしあとかせきはっけんばしよ
★岩手県足跡化石発見場所

けんじせんせい み あしあとかせき だいしやう
賢治先生たちが見つけた足跡化石は大小

さまざま、無数にのこされたゾウやシカの
仲間なかまのものじゃ。そして、クルミの化石と
いうのがこのオオバタグルミのことなんじゃ。
どちらも日本ではこれが初めての発見じゃ！

イギリス海岸での発見後、オオバタグルミ
は北海道から鹿児島県まで広く見つかって
おる。ゾウやシカの足跡化石も、北上川にそそ
ぐ川の下流などで、たくさん見つかるよう
になった。このうち和賀川ではいっしょにオ
オバタグルミの化石も見つかるんじゃ。イギ

リス海岸と同じ化石が見つかるということは、ここにも同じ時代に同じような自然の
営みいとながあった、ということなんじゃよ。もしかしたら岩手県内にはイギリス海岸のよ
うな風景が、他にも手つかずで残っているかもしれない。

賢治先生は『イギリス海岸』の中で、クルミの葉がそよぎ、ゾウたちが歩き回り、
やがて堅い実や足跡が土に埋もれ、火山灰が覆い、長い年月が流れていったイギリス
海岸のおいたちに思いをめぐらせておる。そして、今年2022(令和4)年は賢治先生が
イギリス海岸でクルミの化石を拾ってからちょうど100年じゃ。この間に、当時はわ
かっていなかったイギリス海岸のなりたちが少しずつあきらかになっていった。地層
の時代がおよそ150万年前だということもはっきりした。今も研究はつづいているが
賢治先生のオオバタグルミは、その最初のきっかけになった重要な化石なんじゃよ。



さんこう みやざわけんじせんしやう ちくましょぼう ねん いわてけんりつはくぶつかんちやうまほうこくしやうだい さつ いわてけんりつはくぶつかん ねん ほか
参考 『宮澤賢治全集 6』 筑摩書房 1986年/ 『岩手県立博物館調査報告書第14冊』 岩手県立博物館 1998年 他

「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時
のものです。最新情報ではございませんので、
あらかじめご了承ください。
「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆し
ております。



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>